

## 7. 高校生のための看護学を学ぶ公開講座

看護学部では、新たな試みとして高校生のための看護学を学ぶ公開講座を企画し、10月28日と3月26日に開催した。この講座は、高校生の間から看護学に触れ、看護学への関心と考察を深めてもらう目的で企画した。

第1回公開講座では、「看護の複眼的思考」をテーマに、複眼的思考とは何か、複眼的思考を持つことの体験、さらに複眼的思考が看護学になぜ必要かを学んだ。参加者は、10名であった。第2回は、「看護とは何か？」をテーマに、定義とは何かや定義の体験、看護の定義について学習した。参加者は、8名であった。

講座は、能動的な学習を意図して、看護学部でひろく行われているグループワーク形式で行った。参加した高校生にとっては、難しいテーマであり、また初めて会う人たちとグループワークをすることに少し緊張した表情であったが、ファシリテーターの看護学部生の誘導もあり、自己紹介が終わる頃には打ち解けた様子であった。また、講座内で読書の重要性についてふれ、1冊の本を時間が経った中で改めて読み返すと違った視点が見つかることなどを学んだ。

参加した高校生の感想としては、『難しかったけど考えることができた』、『自分が今まで思っていた以上に看護というのは深いものだとなった』、『保健師になりたい！看護の仕事をしたい！という夢はあったけど、どんな看護師になりたいのか、どんな看護をしたいのかというのは、どうやって見つけたらいいかわからなかったが、今回参加して見つけるきっかけになった』などの感想が寄せられた。

